

みつくらぶ

vol.8

仙台画像検診
クリニック広報誌



 仙台画像検診クリニック

Sendai Medical Imaging Clinic

2016 vol.8

※みつくらぶとは、Medical Imaging Clinic と CLUB を合わせたものです。

院長ごあいさつ

伊藤 正敏

いとうまさとし



プロフィール PROFILE

仙台画像検診クリニック院長
 医学博士、東北大学名誉教授
 東北福祉大学客員教授
 日本核医学会核医学専門医
 1972年 信州大学医学部医学科卒業
 1977年 東北大学抗酸菌病研究所(現加齢研)を経て
 サイクロトン核医学研究部教授
 PET診断歴約35年 2007年より現職

年の暮れを迎え、町を歩きかう人々の足取りにもあわたしさが感じられるようになってまいりました。

今年は雨が多く、夏から台風が繰り返しているうちに気が付けば年末を迎えております。最近の気候は極端に移り変わるようです。これも地球温暖化のためなのでしょう。江戸時代だったら凶作が心配になり、どうやって生き延びるか考えなければいけません。現在では野菜などが高騰することはあるものの飢饉の心配がないのは、ありがたいことです。

さて、当院もおかげさまで設立9年目に入りました。受診者様の数も合計25,000人を越えましたので、平均すると1年に3,000人の新規のお客様を迎えたこととなります。このほか、年毎にお見えになれる方もいらっしゃいますので、ようやく当院のロビーも閑散とする時間は少なくなりました。

私が職員に言って聞かせている当院のモットーは以下のように単純です。1)自分の都合をお客様の都合より優先してはいけない。2)職域を越えてサービスすること。自分は看護師(検査技師)だからこの仕事しかやらない。お客様が困っていたり、ある部署が忙しくて仕事が滞っていても関係ない。という気持ちを持ってはいけないというものです。私は、公務員を長いあいだやってきたためこの弊害を見てきました。しかし当院でも、この原則を守りきれなくてお叱りを受けることもありました。検査終了後のアンケートで褒めていただきますと大変うれしいですが、苦情も我々にとってはありがたいです。苦情が一つあるとほかに10人くらいは、言葉にしなくても同じように思っているはず。苦情に対処することは、当院をもっとよくすることになります。ただし、駐車場のご不満は解消できておりません。場所が街中にあり、借りている土地ですので広い駐車スペースに改造できないのです。恐れ入りますが、普段大きな車に乗っていらっしゃる方も来院の時は、小さい車で来ていただければありがたいです。



仙台画像検診クリニック内科外来開設のごあいさつ

佐藤 由紀夫
さとう ゆきお



プロフィール PROFILE

仙台画像検診クリニック副院長	日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医
医学博士、元福島県立医科大学医学部教授	日本消化器病学会認定専門医
東北大学大学院医学系研究科非常勤講師	1983年 福島県立医科大学卒業
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医	2001年 福島県立医科大学医学部教授
日本リウマチ学会認定専門医・指導医	2012年 仙台・太白病院院長
日本アレルギー学会認定専門医・指導医	2016年より現職

伊藤正敏院長より仙台画像検診クリニックに内科外来を開設するとのお話をいただき、「やりがい」を感じ、本年8月に当クリニックに赴任いたしました。伊藤院長をはじめ関係する皆様へ感謝申し上げます。すでに内科診療を開始していますが、診療をさらに充実させるため、近日中に新しい診察室を開設予定です。この紙面を借り、内科外来開設のご挨拶と診療方針についてご紹介させていただきます。

仙台画像検診クリニックは最新の画像診断機器を有し、画像診断の経験豊かな医師と医療スタッフによって高度な総合画像診断を提供してまいりました。また、検診(病気の予防と早期発見)を中心とした医療を提供してきたことから、来院者に対するきめ細かな対応と気配りが重要ですが、病院スタッフ全員が一丸となり、安全で満足できる医療サービスを提供していると感じます。このような恵まれた医療環境の中で新しく内科診療を開始できることは幸運であり、当クリニックの発展と地域医療に少しでも貢献できるよう全力を尽くす所存です。

私の専門はリウマチ・膠原病、アレルギーと呼ばれる慢性炎症性疾患ですが、当クリニックではこれらの疾患を中心とした一般内科を担当いたします。内科診療の基本は正しい診断から始まりますが、画像検査は診断に重要な役割をはたしてきました。当クリニックの高度な総合画像診断能力を生かすことにより、より早くより正確な診断が可能となります。診断後は科学的根拠をもとにした最新・最適で安全な医療を速やかに提供することが、内科外来の目標となります。すでに花粉症に対する最新の治療法である「舌下免疫療法」や関節リウマチの方に対する生物学的製剤(本号の「関節リウマチの診断と治療の進歩」をご参照ください)を使用した治療を行っています。また、東北大学や企業と共同で臨床に役立つ研究を行うことも計画しており、一部はスタートしています。例として以下のようなことを検討しています。

動脈硬化はコレステロールが動脈壁に沈着するだけで起こると以前は考えられていました。最近になり動脈壁に沈着したコレステロールを貪食細胞と呼ばれる炎症細胞が食べて活性化し、動脈壁に慢性炎症をおこすことで動脈硬化が起こることが証明されています。

炎症がおこらないよう遺伝子操作されたマウスでは、コレステロールが高くとも動脈硬化が進まないことも分かっています。すなわち動脈硬化は一種の慢性炎症性疾患です。実際、炎症の血液マーカーであるCRPが高い人ほど(動脈硬化性疾患である)心筋梗塞の発症頻度が上昇することも証明されています。今の動脈硬化の予防法の中心は脂質異常症の是正ですが、慢性炎症を標的にした新しい治療法の研究も進んでいます。このような中、慢性炎症性疾患であるリウマチ・膠原病の診療で得られた知識と経験をもとに動脈硬化の発症・進行予防に有効な炎症制御法を考案し、治療に役立てたいと願っています。皆様のご支援を宜しく申し上げます。

関節リウマチ

の 診断と治療の進歩

1 炎症・免疫と関節リウマチ

炎症の症状は「腫れ」、「発熱」、「痛み」、「発赤」であり、炎症を起こすのは血液中の白血球です。感染症は病原微生物（細菌やウイルスなど）が身体に侵入しておこる炎症性疾患ですが、白血球は炎症をおこすことにより病原微生物を攻撃し排除します。また、白血球は身体に侵入した病原微生物を記憶し、同じ微生物が再度侵入した時には速やかに探知し、その微生物を排除することで感染症から身体を守ります。このような生体防御システムを「免疫」と呼びますが、その役割を担うのも白血球です。

免疫に異常がおこり、自己の関節を攻撃してしまうことで多数の関節に炎症がおこる病気が「関節リウマチ」です。複数の関節に同時に炎症がおこるため、関節リウマチの方は多発関節痛に悩まされます。以前は約半数の方が数年で複数の関節が破壊され、仕事だけでなく日常生活にも支障がでていました。そして、約3割の方が寝たきりとなる難病でした。

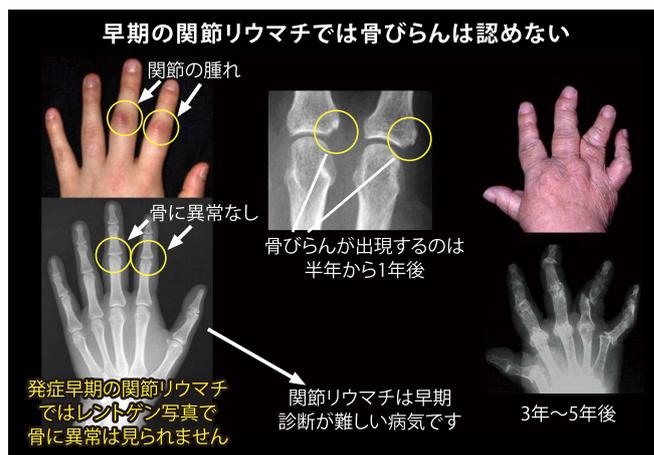
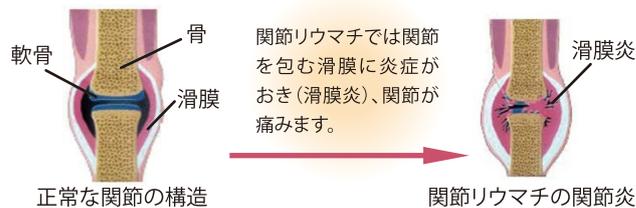
関節リウマチは高齢者の病気と思われがちですが、実際は30歳～50歳代の女性に発症することが多く（男性の3倍）、30歳以上の人口の約1%がこの病気にかかっています。30歳～50歳の方は仕事や家事、子育てなど最も忙しい年代ですが、関節リウマチはこれらことができなくなる深刻な病気でした。10年ほど前までは関節リウマチに対する有効な治療法がなく不治の難病でしたが、早期診断法の確立や新薬の登場により今では関節破壊の進行を止めるだけでなく、一部では治癒と考えられる人まで見られるようになりました。

2 早期診断法の確立

関節リウマチによる関節・骨破壊は徐々に進行すると以前は考えられていましたが、今は発症後数年で骨破壊が急速に進行することが明らかにされています。そして、早期に診断し治療することにより（理想的には4ヶ月以内）、そ

の後の関節破壊の進行を阻止できることも判明しました。一方、早期診断の必要性が明らかになるにつれ問題もでてきました。以前の診断基準の項目には関節の単純レントゲン写真で骨びらん（骨破壊の初期像）や骨破壊を認めることが含まれていました。しかし、レントゲン写真で骨びらんが見れるまでには発症後、半年から1年程度かかるため理想的な時期（発症後4ヶ月以内）に診断・治療ができないうのジレンマがありました。

関節リウマチで最初に炎症がおこる部位は関節の骨ではなく、関節を覆う滑膜です。これを滑膜炎と呼びますが、滑膜炎が続くと滑膜が増殖して骨を壊していきます。炎症で増殖した滑膜が骨を壊すまで半年～1年程度かかりますが、レントゲン写真には軟部組織である滑膜は写らないため関節リウマチの早期診断は困難でした。



現在の世界的な診断基準（正確には分類基準）にはレントゲン写真の項目はなくなりました。さらに、増殖した滑膜（滑膜炎）を見ることができるとMRIや関節エコー検査を組み合わせることで、より正確な早期診断が可能となりまし

た。当クリニックは最新の画像検査機器を有し、熟練した画像診断医による高度な画像診断を提供してきたことから、リウマチ性疾患を専門とする医師にとっては恵まれた医療環境と言えます。



3 新しい治療法の登場

関節リウマチは免疫の異常により複数の関節に炎症が起こる病気ですが、炎症をおこす細胞は白血球です。白血球は微生物などの外敵から身体を守る兵隊ですが、関節リウマチでは兵隊である白血球が反乱して関節滑膜に炎症をおこし、自己の関節を壊しています。以前は白血球を標的にした抗リウマチ剤や免疫抑制剤、炎症を抑えるステロイド剤や非ステロイド系抗炎症剤が使用されました。しかし、これらの薬で関節リウマチの進行を完全に抑えることは困難であり治癒も望めませんでした。

白血球はTNF α などの「炎症性サイトカイン」を産生して関節滑膜に炎症をおこしますが、10年ほど前に炎症性サイトカインの作用を中和する「生物学的製剤」と呼ばれる薬が登場し、関節リウマチの治療は大きく進歩しました（現在は7種類あります）。

この薬が登場した時に驚いたことは、多発関節痛のため歩行も困難であった関節リウマチの方が、生物学的製剤投与翌日には関節痛が消失し歩行できるようになった

姿です。その後、生物学的製剤による治療で骨破壊が修復されることや、早期投与により一部の方では治癒に導ける可能性があることが分かってきました。治癒とは全ての薬を中止しても関節リウマチが再燃しない状態ですが、この薬が登場してから10年ほどしか経っていないため、一生再燃しないかはこれからの課題です。

多くの方ではリウマチの薬を中止することにより再燃するため、薬物学的寛解（薬を使用することにより関節リウマチの炎症・症状がない状態）が現在の治療目標となっています。薬物学的寛解が達成されることにより一般の方と同じような毎日を過ごすことができます。現在では生物学的製剤以外の新しい抗リウマチ剤も保険適応となり、複数の抗リウマチ剤を組み合わせることで多くの方で薬物学的寛解が達成できるため、生物学的製剤を必要とする方は3割程度と推定されています。

生物学的製剤の登場により関節リウマチの治療は大きく進歩しましたが、一方では重篤な副作用が出現しやすいため、使用にあたっては細心の注意が必要です。生物学的製剤は関節の炎症だけではなく微生物の排除に必要な炎症も抑えるため、生物学的製剤を使用している人は感染症に罹りやすくなります。よって、白血球数やリンパ球数が低い人や結核などの慢性感染症に罹患している人には使用できません。また、生物学的製剤投与中に白血球やリンパ球が急激に低下する人もおり、その場合には生物学的製剤の投与を一時中止するか、抗菌剤の予防投与を行います。

その他の副作用が出現する可能性もありますが、早期に発見し薬剤を中止するか適切な措置をとることにより回復します。大事なことは副作用対策を充分に行うことで生物学的製剤の効果を最大限に引き出せることです。当クリニックではMRIを用いた関節リウマチの早期診断や生物学的製剤を含めた最新の治療を行っています。

MRI検査のご紹介

MRIとはMagnetic Resonance Imagingの略語で日本語では磁気共鳴画像法と訳されます。MRIの原理は、ガントリーと呼ばれるトンネル外周にある超伝導磁石により発生する強い磁場と電波を利用し、身体の断面を撮影、画像化する技術です。組織中の水素原子のふるまいを信号としますので水の分布や水分子の結合強度などから、CTよりも鮮明に臓器の内部を画像化できます。

特に脳や血管、腹部の臓器、更には脊椎や関節に関しても優れた描出能があり、開発者(米国人)はノーベル賞を受賞しています。

当院ではGE社製1.5Tの装置を用い、検診検査と病院紹介による保険診療検査を行っており、27年度には延べ2100人とたくさんの方々の検査をさせて頂きました。

MRI検査の特徴は、

- ・放射線被ばくが一切無く、画像としても組織間コントラストに優れている。
 - ・任意の断層像を得ることができ、撮像法を変えることで病変の質的評価ができる。
 - ・造影剤なしで血管の画像が得られる。
- 等が挙げられます。

では実際に当院検診コースでのMRI検査ではどんな事が分かるのか紹介します。

【頭部】血管出血や梗塞、腫瘍、動脈瘤などの奇形。脳萎縮コンピュータ解析(VSRAD)では脳の委縮度を測り認知症の診断情報を提供しています。

【上腹部】肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓の診断に有用です。

【骨盤部】女性では子宮・卵巣に筋腫や嚢腫がないか、男性では前立腺肥大や癌がないか、精嚢や陰嚢に異常はないか。合わせて膀胱・直腸なども観察します。

以上の様に一度の検査で様々な部位を観察し情報を得ることが出来ます。

また保険診療ですが、内耳神経、MRCP(胆管膵管撮影)、頸部、脊椎、関節、乳腺等の更に詳しい検査にも対応しております。

ところで皆さんはMRIというとどんなイメージをお持ちになりますか？



音がうるさい、検査時間が長い、狭いトンネルに入るのが怖い・・・と不安を抱えている方も多いのではないのでしょうか？

当院では、そのような不安を少しでも和らげられるように音楽を聴いていただいたり、マット等を使い楽な姿勢をとっていただいたり、様々な工夫を施しています(※閉所恐怖症の方は安定剤を使用する事も可能です。)

私どもが日常検査において大切にしているのは、受診者様とのふれあいです。綺麗な的確な画像を撮ることはもちろんですが、それに加えてそれぞれの方に合った気配り、心づかい、会話により、少しでも不安を減らして質の高い検査ができるよう努めてまいります。

当院ではPET/CTを基本にしたがん検診のコースを定期的に受けていただく事をお勧めしていますが(目安として40代では3年に1度、50代では2年に1度、60代以上は毎年)、次の検査までの間に身体にやさしい超音波検査とMRI検査を受けて頂くことを是非お勧めしたいと思っています。病の早期発見と早期治療が私共の願いです。



●臨床検査技師 中川 明美
●診療放射線技師 古内 智大
●看護師 古賀 広美
●菅井 利恵

仙台画像検診クリニックのおもな設備

■PET/CT(2台)



●シーメンス社製
PET/CT

●PETとCTを一度に撮影できます。
当院ではこのPET/CTを2台導入し、より多くの方に
受診いただける環境を整えております。

■MRI



●GE社製
MRI

●MRIとは、磁気共鳴画像装置のことで磁場と電波を
利用して体内の画像を得るものです。
当院ではD・Pコース、脳検診に使用しています。

■サイクロトロン



●シーメンス社製

●サイクロトロン
●PETのくすり(FDG)を作るために使用する加速器です。
当院の地下に設置されております。

■X線マンモグラフィ



●乳がんの早期発見のため
に用いられる乳房X線撮
影装置です。当院ではPコ
ースのほか、オプションと
しても受診いただけます。
(女性のみ)

■超音波診断装置(エコー)



●超音波を使って主に内
臓の様子を画像化する
装置です。当院では、Aコ
ースを除く全てのコース
で腹部・骨盤の検査に用
いるほか、コースにより甲
状腺・乳腺などの検査も
行います。

■内視鏡(上部、下部)



●上部(胃・十二指腸)下部
(大腸)の内視鏡です。
当院では全てのコースで
オプションとなっております。
実施できる日が限られて
おりますので予約時にご
確認ください。

待合室

●落ち着いた雰囲気ですリラックスして受診いただけます。



4F/ロビー



1F/ロビー

検診の流れ〈Aコースの例〉



◎受診される際のご注意

受診前日 食事は通常通りお摂りいただけますが、飲酒はお控え下さい。受診前日や当日の激しい運動は避けて下さい。

受診当日 〈受診前〉お水・日本茶・白湯などの飲み物は飲めますが、それ以外の食べ物は飲食しないようにして下さい。

糖分の入ったものや乳製品をお飲みになると、検査に使用する「くすり」の性質上、正確な検査ができなくなります。(特にスポーツ飲料や栄養ドリンク、ジュース、牛乳、果物など糖分を含む物を飲んだり食べたりしないようにご注意下さい)なお、PET/CTを含むコースは受診6時間前までの朝食は可能です。

〈受診後〉受診後1～2時間の間は微量の放射線が体内に残っていますので、当日に限り妊産婦や乳幼児との緊密な接触は控えて下さい。

コース料金のご案内〈自由診療〉

2016年12月現在

完全予約制

土・日・祝日の受診も可能

料金 (税込)
(税別)

A コース	PET／CT検診 PET/CT(体幹部) ※ペプシノーゲン検査は行ないません	約3時間	75,600円 (70,000円)
B コース	PET／CT人間ドック PET/CT(脳・体幹部)、超音波エコー(腹部・骨盤)	約3.5時間	86,400円 (80,000円)
C コース	PET／CTがん検診 PET/CT(脳・体幹部)、超音波エコー(腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種	約3.5時間	103,140円 (95,500円)
D コース	PET／CT・MRI検診 PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部、腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種	約5時間	151,740円 (140,500円)
P1 コース	プレミアムコース(当日結果説明つき) PET/CT(脳・体幹部)、MRI(頭部・腹部)、超音波エコー(頸部、腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ◎当日結果説明(1日2名限定)	約6.5時間	194,400円 (180,000円)
P2 コース	プレミアムコース(免疫力判定検査つき) PET/CT(脳・体幹部)、MRI(頭部・腹部)、超音波(頸部、腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ◎免疫力判定検査(基本コース) ※免疫力判定検査の内容が、安心コースから基本コースに変更になりました。差額追加(+15,000円+税)で安心コースへの変更も可能です。	約6時間	183,600円 (170,000円)
P3 コース	プレミアムコース(PEMつき)※女性のみ PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部、腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ◎PEMつき	約6.5時間	194,400円 (180,000円)
M コース	MRI人間ドック 体幹部MRIを中心とした人間ドックコースです。 胃カメラはオプションです。PET検査は含まれません。	約2時間	54,000円 (50,000円)

※ご注意:いずれのコースも内視鏡・子宮頸がん検査はオプションとなります。詳細は別表をご覧ください。

※当日終了後の結果説明はP1プレミアムコース(当日結果説明つき)のみです。他のコースでのオプション設定はありません。

※P2コースは、土曜日受診不可。

各コース・検査項目の詳細

2016年12月現在

検査コース	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	P1コース	P2コース	P3コース	Mコース
	PET/CT 検診	PET/CT 人間 ドック	PET/CT がん 検診	PET/CT ・MRI 検診	当日 結果説明 付き	免疫力 判定検査 付き	PEM 付き ※女性のみ	MRI 人間 ドック
検査時間の目安	約3時間	約3.5時間	約3.5時間	約5時間	約6.5時間	約6時間	約6.5時間	約2時間
検査内容／料金 税込(税別)・単位／円	75,600 (70,000)	86,400 (80,000)	103,140 (95,500)	151,740 (140,500)	194,400 (180,000)	183,600 (170,000)	194,400 (180,000)	54,000 (50,000)

基本検査	身長、体重、血圧、腹囲	●(腹囲を除く)	●	●	●	●	●	●
問診・診察		●	●	●	●	●	●	●
PET/CT	脳		●	●	●	●	●	
	体幹部	●	●	●	●	●	●	
PEM ※女性のみ							●	
胸部X線								●
MRI	脳					●	●	
	脳定量コンピュータ解析(VSRAD)					●	●	
	体幹部				●	●	●	●
心電図		●		●	●	●	●	●
眼科・耳鼻科検診	眼底検査、眼圧検査、視力、聴力検査		●		●	●	●	●
超音波検査	頸動脈				●	●	●	
	甲状腺				●	●	●	
	乳腺 ※女性のみ			●	●	●	●	
	腹部、骨盤		●	●	●	●	●	●
マンモグラフィー ※女性のみ					●	●	●	
腫瘍マーカー ※詳細は別表をご覧ください。			10種	10種	10種	10種	10種	
尿検査	糖、蛋白、潜血	●	●	●	●	●	●	●
血液一般検査	白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、血小板数、血液像	●	●	●	●	●	●	●
生化学検査	総コレステロール、中性脂肪、HDL、LDL、GOT、GPT、γ-GTP、ALP、尿酸、クレアチニン、尿素窒素、総ビリルビン、血清アミラーゼ、LDH、総蛋白、蛋白分画、血清鉄、HbA1c、CRP定量、アルブミン、A/G		●	●	●	●	●	●
	血糖		●	●	●	●	●	●
肝炎ウイルス検査	HBs抗原、HCV抗体		●	●	●	●	●	●
ペプシノーゲン			●	●	●	●	●	●
ピロリ菌検査			●	●	●	●	●	
便潜血検査(2日法)		●	●	●	●	●	●	●
喀痰細胞診			●	●	●	●	●	
動脈硬化度測定	大動脈石灰化度測定				●	●	●	
	冠動脈石灰化度測定				●	●	●	
	動脈硬化指数				●	●	●	
メタボリックシンドローム判定		●	●	●	●	●	●	
身体年齢測定	骨密度				●	●	●	
ストレス度測定	問診				●	●	●	
	唾液アミラーゼ				●	●	●	
免疫力判定検査	基本コース					●		
	安心コース					+16,200		
結果説明	当日終了後	—	—	—	—	●	—	—
	後日(要予約)	●	●	●	●	●	●	●

※プレミアムコース ①当日結果説明付き／1日2名様まで

②免疫力判定検査付き／土曜日除く

③乳腺専用PET(PEM)付き

※検査項目および検査料金は予告なく変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください。

オプション検査

レディースオプション:女性の方へ

2016年12月現在

検査項目	内 容	検査料金 税込(税別)・単位/円
マンモグラフィ検査	X線によるマンモグラフィ検査です。	5,940(5,500)
乳腺超音波検査	乳腺を超音波エコーで検査します。	4,320(4,000)
乳腺専用PET【PEM】 (乳腺超音波検査を含む) ※女性のみ	乳腺専用の高解像度PET機(PEM)と乳腺超音波検査を併用して、乳腺をより詳細にチェックします。 PET/CTを受診される方だけのオプションです。	37,800(35,000) ※初回20%引き 30,240(28,000)
婦人科検診 ※外部提携施設での検査となります。	子宮頸がん検診(超音波・細胞診)	7,560(7,000)
	ヒトパピローマウイルス検査	5,724(5,300)

脳検診・もの忘れ検査:脳のチェックをしっかり行いたい方へ

検査項目	内 容	検査料金 税込(税別)・単位/円
脳検診(頭部MRI検査)	脳MRI・MRA・脳年齢 脳の形態と血管画像で、脳の変化を検査します。 ※脳検診のみ受診することもできます。	21,600(20,000)
頸部MRA・超音波検査	頸部MRA、頸動脈・甲状腺超音波検査 脳検診を受診される方専用のオプションです。	12,960(12,000)
神経心理学検査	MMSE/MoCA-J/CASI/GDSほか 軽度認知障害(MCI)のスクリーニングを行います。	10,800(10,000)
もの忘れ脳検査	脳MRI・MRA・VSRAD・神経心理学的検査、 脳画像と統計解析、神経心理学的検査を組み合わせ て総合的にMCIのスクリーニングを行います。	32,400(30,000)

血液成分解析による専門検査 ※詳細については専用のパンフレットをご請求下さい。

検査項目	内 容	検査料金 税込(税別)・単位/円
免疫力判定検査 ●がん細胞から身を守る免疫力を総合的に 評価する検査です。	基本コース	18,360(17,000)
	安心コース(基本コース+T細胞増殖能検査)	34,560(32,000)
アミノインデックス検査 ●血液中のアミノ酸を分析して、部位ごとの がん罹患の将来的リスクを検査します。	男性5種(胃・肺・大腸・前立腺・膵臓)	27,000(25,000)
	女性6種(胃・肺・大腸・乳腺・子宮/卵巣・膵臓)	27,000(25,000)

内視鏡検査・一般検査

検査項目	内 容	検査料金 税込(税別)・単位/円
上部消化管内視鏡	食道・胃・十二指腸を内視鏡画像でチェックします。	11,340(10,500)
大腸内視鏡	大腸を内視鏡画像でチェックします。	23,760(22,000)
肺機能検査	スパイロメトリー検査	3,240(3,000)
ピロリ菌検査	血液抗体検査	3,240(3,000)
腫瘍マーカー	10種:別表をご参照ください。	12,960(12,000)
プラセンタ皮下注射	1回につき	2,700(2,500)
超音波(頸動脈・甲状腺)	頸動脈・甲状腺を超音波エコーで検査します。	8,640(8,000)

オプション検査について

- 脳検診を除き、単体での受診はできません。
- 各コース検診と同じ日に受診できない場合があります。詳しくはお問い合わせください。

腫瘍マーカーの内訳

腫瘍マーカー 検査項目	10種		主 な 対 象 疾 患
	男性	女性	
A F P	●	●	肝臓がんなど
C E A	●	●	悪性腫瘍全般(特に胃がん、大腸がんなど消化器系腫瘍、及び甲状腺がん、肺がん、乳がんなど)
S C C	●	●	子宮頸がん、肺がん、食道がん、頭頸部がんなど
C A 19-9	●	●	各種腺がん(特に膵臓がん、胆道がん、胃がん、大腸がんなど消化器系腫瘍)
エラスターゼ	●	●	膵臓がん及び膵疾患など
N M P 22	●	●	膀胱がん、腎盂尿管がんなど
S L X	●	●	肺がん、消化器がん、乳がん、卵巣がんなど腺がんを主とした広範ながん
N S E	●	●	神経内分泌腫瘍、小細胞性肺がんなど
P 53抗体	●	●	食道がん、大腸がん、乳がんなど
P S A	●	●	前立腺がん及び前立腺疾患など
C A 125	●	●	卵巣がんなど

●腫瘍マーカー検査とは:

- がんができることによって発生する特殊な物質が血液中で増えているかどうかを測り、早期がんをスクリーニングする検査です。
- 但し、がんであっても増えなかったり、がん以外の病気でも増えることもあることから、画像診断と組み合わせて総合的に判断します。

仙台画像検診クリニックより お知らせ

割引制度のご案内

リピーター割引

各コース検診受診後、2年以内に受診いただくと通常より5%割引させていただきます。(オプションを除く)

特別会員割引

がん罹患歴のある方に限り、事前にご登録いただくとC・D・プレミアムの各コースを10%割引いたします。(A・B・Mコース、オプションを除く)
※割引の重複はありません。



仙台画像検診クリニックの研究・医療体制をバックアップ

- テキサス大 MDアンダーソンがんセンター [http://www.mdanderson.org/]
- 東北大学 サイクロトロンRIセンター
- 東北大学 川島 隆太 教授

世界最高水準のテキサス大MDアンダーソンがんセンター

MDアンダーソンがんセンターは米国テキサス州ヒューストンにある、がんの治療・研究に特化した臨床・研究施設です。U.S.News & WorldReport誌が行う全米のホスピタルランキングで16年間連続、がん病院部門で1位もしくは2位にランクされている世界最高水準のがん研究施設です。当クリニックは米国テキサス大学MDアンダーソンがんセンターとの研究協定を締結し、世界最高水準の診断サービスを提供する体制を整えております。

アクセス | access

地下鉄

仙台市営地下鉄「五橋駅」下車、南1番出口より、道路向い側すぐ。

J R

JR仙台駅西口より五橋方面へ徒歩約15分。

駐車場 ご利用について

当院専用の駐車場は道路向かい側にございますが、区画が大変狭くなっております。大型の車両でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。検査時間に該当する駐車料金は当院にて負担いたします。



お申込み・お問い合わせ

[予約受付時間/8:30~18:00(日曜日・月曜日休み)]

0120-865-750

インターネットからのご予約も承ります

<http://www.micjapan.or.jp>



仙台画像検診クリニック

Sendai Medical Imaging Clinic

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目1番25号



土・日・祝日も受診いただけます。

- 診療時間/8:30~18:00
- 休診日/月曜日